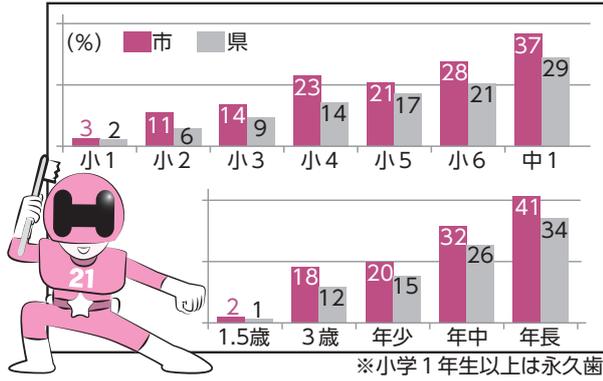


子どものむし歯の状況 (25年度)



# 健康通信

子どものころから歯や口腔の健康に気をつけよう！～歯と口腔の健康は一生の財産です～

## ワンポイントアドバイス

### ☆ 永久歯をむし歯にしないために ☆

「乳歯は生え替わるから、むし歯になっても大丈夫」なんて思っていないですか？ 乳歯のむし歯を放置していると、永久歯もむし歯になりやすく、歯並びや顎の発達に悪い影響が出てしまうことがあります。また、乳歯から永久歯への生え替わりの時期は歯並びが複雑で、子どもが自分で上手に歯みがきするのは困難です。小学4年生までは、保護者の仕上げみがきを続けましょう。

- ① 食生活の見直し：甘いお菓子や飲み物をだらだらと飲食しないようにしましょう。
- ② 歯みがき：毎食後の歯みがきを習慣にしましょう。歯と歯ぐきの境目や、歯と歯の間をよくみがきましょう。
- ③ 定期的な歯科健診：かかりつけの歯科医院で、定期的な歯科健診を受けましょう。
- ④ フッ化物の利用：フッ化物は歯の質を強化します。積極的に取り入れましょう。

## 歯と口の健康週間

6月4日～10日は「歯と口の健康週間」です。この週間に合わせて、西尾市歯科医師会では「歯の健康センター」を開催し、無料で歯科健診とフッ化物塗布を実施します。ぜひお越しください。

対 平成21年4月1日～24年3月31日生まれの方

時 6月7日(日) 午後0時30分～3時

場 ホワイトウェイブ21

持 母子健康手帳

● 守ろう6歳臼歯  
5、6歳ごろに生えてくる永久歯「6歳臼歯」は、かむ力が歯の中で一番強く、歯並びの要になる重要な歯ですが、永久歯の中で一番むし歯になりやすい歯でもあります。

市では、むし歯対策として、26年度から市内一部の保育園や幼稚園の年長児を対象に、フッ化ナトリウム水溶液を用いてブクブクうがいをする「フッ化物洗口事業」を実施しています。

西尾市保健センター (☎57・0661)

# 市民病院 Q & A

## Q

女性内科外来とは、どのような症状の人が受診する外来でしょうか。

女性内科外来医長 都筑正美

## A

婦人科の病気以外でも、男性と女性とではかかりやすい病気や症状、薬の効き方も違うところが分かってきました。診断や治療において、この「性差」を考慮した医療が必要であるという考えの下に作られた外来が、女性内科外来です。当院の女性内科外来は、「どんなことでも相談でき、解決に向けて一緒に考える外来」を目指し、特にプライバシーへの配慮や、納得できるまでじっくりと対応する外来運用を心掛けています。



性差医療には、更年期症状も含まれます。この症状は現れ方に個人差があり、複数の症状が重なる、受診する科の判断に迷うこともあります。体調不良に始まり、ストレスや疲労、甲状腺機能異常や膠原病など女性に頻度の高い疾患による症状、その他さまざまな病態が考えられます。そんな時、女性専門の科に行くことが解決の一步となるかもしれません。治療はもちろん、体調不良の原因が分かれば、精神的にも楽になれると思います。

女性内科外来は、原則毎月第2・第4・第5木曜日に開設しています。月々金曜日午後3時～4時30分に電話で予約してください。

市民病院女性内科外来 (☎56・3171)